

平成25年度評価問題「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査) 小学校第4学年 社会 出題のねらい等

No.1

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		地域の人々の生活	3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	昔の道具の用途について理解していること。				○	○	
②		(2)		地域の人々の生活	3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	昔の道具の用途について理解していること。				○	○	
③		(3)		地域の人々の生活	3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	道具の移り変わりを資料から読み取ることができること。			○		○	
④		(4)		地域の人々の生活	3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	昔の道具の大変さについて考え、表現できること。		○				○
⑤				地域の人々の生活	3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	今の道具の利便性について考え、表現できること。		○				○
⑥	2	(1)		健康なくらし	3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	資源ごみ・可燃ごみ・不燃物の種類を理解していること。				○	○	
⑦		(2)		健康なくらし	3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	2つのグラフを対比させながら疑問に思ったことを表現できること。		○				○
⑧		(3)		健康なくらし	3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	資料からリサイクルしてつくられる物を考え、表現できること。			○		○	
⑨				健康なくらし	3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	資料からリサイクルしてつくられる物を考え、表現できること。			○		○	
⑩				健康なくらし	3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	資料からリサイクルしてつくられる物を考え、表現できること。			○		○	
⑪				健康なくらし	3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	ごみを減らす取組を3Rに沿って考え、表現できること。	○					○
⑫	3	(1)		健康なくらし	3・4年	(3)ア 飲料水の確保や自分たちの生活や産業とのかかわり	図をもとにして、浄水場の働きについて説明できること。			○		○	
⑬		(2)		健康なくらし	3・4年	(3)イ 飲料水の確保のための計画的、協力的な対策や事業	浄水場の働きについて理解していること。				○	○	
⑭		(3)	①	健康なくらし	3・4年	(3)ア 飲料水の確保や自分たちの生活や産業とのかかわり	資料から人口と水道使用量の変化の関係を読み取ることができること。			○		○	
⑮			②	健康なくらし	3・4年	(3)ア 飲料水の確保や自分たちの生活や産業とのかかわり	水資源の確保、保全と森林の働きについて考え、表現できること。				○	○	
⑯			③	健康なくらし	3・4年	(3)ア 飲料水の確保や自分たちの生活や産業とのかかわり	水資源に対する関心を持ち、節水に対する関心をもつこと。	○					○
⑰	4	(1)	ア	くらしを守る	3・4年	(4)ア 地域社会における事故の防止について	地域にある事故防止のための設備を理解していること。				○	○	
⑱			イ	くらしを守る	3・4年	(4)ア 地域社会における事故の防止について	地域にある事故防止のための設備を理解していること。				○	○	
⑲			ウ	くらしを守る	3・4年	(4)ア 地域社会における事故の防止について	地域にある事故防止のための設備を理解していること。				○	○	

平成25年度評価問題「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査) 小学校第4学年 社会 出題のねらい等

No.2

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解	知識	活用
⑳	4	(2)		くらしを守る	3・4年	(4)ア 地域社会における事故の防止について	地域にある事故防止のための設備を理解していること。		○				○
㉑		(3)	①	くらしを守る	3・4年	(4)イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制	緊急連絡時の対応のしかたを理解していること。			○		○	
㉒			②	くらしを守る	3・4年	(4)イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制	火災が起きた場合の連絡のしくみについて読み取ることができること。			○		○	
㉓			③	くらしを守る	3・4年	(4)イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制	火災が起きた場合の連絡のしくみのよさを考え、表現できること。		○				○
㉔		(4)		くらしを守る	3・4年	(4)ア 地域社会における災害の防止について	地域にある消防施設を理解していること。		○				○
㉕		(5)		くらしを守る	3・4年	(4)ア 地域社会における災害の防止について	地域における防火活動に協力しようとすること。	○					○